

## No. 2559 蝶ヶ岳・常念岳（春山合宿山行）

平成 29 年 5 月 3 日(水)～6 日(土)

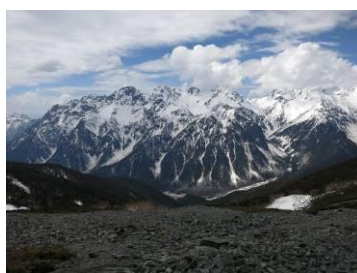
参加者：以倉(L)、佐々木、右田(記)

5 月 3 日 18 時森ノ宮駅前を出発。途中、若干の渋滞にあったが 24 時ぐらいに三股登山口手前の駐車場に到着。駐車場はほぼ満車の状態だがなんとか駐車できて一安心。少しアルコール入れて就寝。

5 月 4 日晴れ。久しぶりの縦走。重い荷物を担いで 5 時間の登りに耐えられるか不安がよぎる。1 週間前に妙見山で 20kg のボックトレーニングをやったが気休めだ。駐車場を 6 時 40 分に出発。まめうち平までは雪がない。ここから上部はべったりと雪が着いている。何度かトラバースを繰り返すと最後の急斜面に出る。尾根へと続くかなりの急斜面で荷物がこたえる。ひたすら登り続けてようやく緩斜面に出る。ここからは頂上まで残り僅か。12 時 30 分蝶ヶ岳ヒュッテ着。尾根に出ると正面に穂高連峰が圧倒的な存在感で神々しく輝いている。これを見るためにしんどい思いをして登って来たのだ。報われて良かった。明日の行程をできるだけ短くするため、先に進む。蝶ヶ岳に登り記念撮影。さらに下って鞍部の雪原にテントを張る。14 時 50 分着。水炊きをいただきながら焼酎、ウィスキーで乾杯する。テント内に夕陽が差し込み心地よい時間が過ぎて行く。20 時頃にはぐっすり。



常念岳



穂高連峰



テント設営地点から

5 月 5 日晴れ。6 時 50 分発。いきなり急斜面の登り。アイゼンが効いて快適に登れる。常念岳の取り付きからは雪がないので、アイゼンを外す。夏山と変わらない登りだが結構長い。2～3 回休憩を取り、ゆっくりと登って行くと、突然頂上が目に見える。最後の雪面を登り、常念岳登頂。10 時 30 分着。360 度のパノラマを楽しむ。ここから常念小屋方面に少し下り、分岐を前常念へと行く。前常念までは雪の着いた尾根歩きとなるので念のためアイゼンを装着する。

積雪が少なくなっておりハイマツや岩の穴に足を何回か取られ、歩きづらい。前常念からは雪のない大岩の尾根を下る。ここも歩き難い。岩尾根を下りきると樹林帯となる。途中まで積雪があるので歩きやすいが中間から下部の下りは雪が少なくなり、笹で滑るので非

常に歩きにくい。前常念からの下りは、長く、つらい。ようやく、駐車場まで戻るとほとんど車はなくなっている。16時着。天気が下り坂ということで早めに下山した人が多いのだろう。明日朝から帰ることにしていたので、夕食の買い出しをして温泉に浸かり、誰もいないテント場で反省会。



槍ヶ岳



蝶槍をバックに



穂高連峰



常念岳を望む



常念岳の登り



前常念への尾根



前常念から

5月6日薄曇り。早朝にテントを撤収し、帰阪。高速道路は空いており、快調に走行。昼頃に森ノ宮に到着し、解散。天気に恵まれ、景色を堪能できた非常に充実した山行だった。